

## 南城市の統計解説①：玉城エリアの産業別就業人口

### はじめに

このシリーズでは、旧4町村（佐敷町、玉城村、知念村、大里村）時代から現在に至る様々な統計資料を公開していきます。地域の特性や変化を、統計により客観的にみることができるでしょう。

第1回目は、2005年・2010年・2015年の旧玉城村域の字別・産業別就業人口を紹介します（国勢調査のデータに基づく）。南城市誕生（2006年）後、約10年間で産業別人口がどのように変わったのかをみることができます。

### 1.玉城エリア全体

第1次産業、第2次産業、第3次産業の就業人口の総数は、2005年4673人、2010年4821人、2015年5167人となっています。つまり、就業人口は増加傾向にあります。産業別の内訳は以下の通りです。

表1 第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	596	594	2	29	3	632	311
2010	542	541	1	34	2	569	348
2015	485	485	0	26	2	600	352

#### 【ポイント】

- ・10年間で大きな変化はないが、農業人口が減少気味であることは明らかである。
- ・建設業と農業の就業人口が多い。

表2. 第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	27	54	227	685	62	26	0	280	0
2010	17	71	266	670	63	39	112	312	215
2015	24	91	274	726	71	61	121	299	232

#### 【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が際立って多い。
- ・情報通信業や不動産業・物品賃貸業の就業者数の増加が目立つ。

表3. 第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	166	548	66	670	243	48
2010	159	695	52	331	219	105
2015	193	826	56	358	218	152

【ポイント】

- ・教育・医療・福祉分野の就業者数が多く、また増加傾向にある。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②建設業、③サービス業（他に分類されないもの）
- ・2010年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③建設業
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③建設業

2. 地域別

①親慶原

表4. 親慶原の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	23	23	0	3	1	47	35
2010	24	24	0	2	1	44	37
2015	24	24	0	3	0	48	45

【ポイント】

- ・第1次産業も第2次産業も、10年間で大きな変化は見られない。
- ・第2次産業の就業者数のほうが第1次産業のそれよりも多い。

表5. 親慶原の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	2	7	20	79	4	6	0	47	0
2010	1	6	26	87	3	5	5	46	26
2015	1	5	17	68	2	5	5	34	29

【ポイント】

- ・宿泊業、飲食サービス業の就業者数が若干減少してきている。

表6. 親慶原の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	16	52	4	77	23	1
2010	15	62	4	39	18	6
2015	13	72	5	44	17	13

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が増加傾向にある。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②サービス業（他に分類されないもの）、③建設業
- ・2010年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②医療・福祉、③宿泊業、飲食サービス業
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③建設業

②垣花

表7. 垣花の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	24	24	0	1	0	22	15
2010	19	19	0	0	0	25	16
2015	33	33	0	0	0	26	15

【ポイント】

- ・建設業と製造業の就業者数に大きな変化はない。
- ・農業の就業者数が増加傾向にある。

表8. 垣花の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	3	0	7	29	3	1	0	20	0
2010	1	2	13	36	2	1	5	16	12
2015	1	5	11	24	3	2	3	14	7

【ポイント】

- ・極端な変化は見られない。

表9. 垣花の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	13	22	1	20	15	2
2010	6	27	2	10	17	2
2015	8	28	3	10	15	2

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数がやや増加傾向にある。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②農業、③建設業
- ・2010年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②医療・福祉、③建設業
- ・2015年順位（多い順）：①農業、②医療・福祉、③建設業

③仲村渠

表10. 仲村渠の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	7	7	0	0	0	25	12
2010	6	6	0	0	0	25	11
2015	7	7	0	0	0	21	5

【ポイント】

- ・製造業の就業者数が減少傾向にある。
- ・建設業の就業者数が農業のそれよりも3倍ほど多い。

表11. 仲村渠の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	2	1	7	25	3	1	0	14	0
2010	0	0	9	18	3	3	3	9	4
2015	1	1	7	16	2	3	4	11	2

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が微減。

表12. 仲村渠の第三次産業（教育・医療・福祉・その他)(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	8	21	1	22	14	1
2010	6	28	1	11	11	7
2015	11	29	1	10	6	7

【ポイント】

- ・教育・医療・福祉分野の就業者数が微増。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①建設業。卸売業・小売業、②サービス業（他に分類されないもの）、③医療・福祉
- ・2010年順位（多い順）：①医療・福祉、②建設業、③卸売業・小売業
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②建設業、③卸売業・小売業

④百名

表13. 百名の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	47	47	0	2	0	49	28
2010	33	33	0	2	0	34	26
2015	26	26	0	1	0	39	26

【ポイント】

- ・農業の就業者数が減少傾向にある。
- ・建設業の就業者数が農業のそれよりも多い。

表14. 百名の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	0	2	12	69	5	2	0	26	0
2010	0	5	17	53	5	0	10	18	24
2015	1	4	19	55	5	3	11	17	22

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が目立って多い。
- ・運送業・郵便業の就業者数が微増。

表15. 百名の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	17	40	5	58	24	11
2010	12	39	3	20	15	12
2015	12	51	1	26	17	15

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が目立って多い。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②サービス業（他に分類されないもの）、③建設業
- ・2010年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②医療・福祉、③建設業
- ・2015年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②医療・福祉、③建設業

⑤新原

表16. 新原の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	16	16	0	1	0	16	9
2010	11	11	0	0	0	11	9
2015	9	9	0	0	0	13	9

【ポイント】

- ・農業の就業者数が減少傾向にある。

表17. 新原の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	0	1	4	23	1	1	0	8	0
2010	0	2	6	17	1	0	3	6	8
2015	0	1	6	18	2	1	4	6	7

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が多い。

表18. 新原の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	5	13	2	19	8	3
2010	4	13	1	7	5	4
2015	4	17	1	8	5	5

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が多い。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②サービス業（他に分類されないもの）、③農業
- ・2010年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②医療・福祉、③農業。建設業
- ・2015年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②医療・福祉、③建設業

⑥玉城

表19. 玉城の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	19	19	0	0	0	13	8
2010	12	12	0	0	0	11	10
2015	3	3	0	0	0	13	12

【ポイント】

- ・農業の就業者数が明らかに減少傾向にある。
- ・建設業および製造業の就業者数が農業のそれよりも多い。

表20. 玉城の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	1	0	5	18	2	1	0	4	0
2010	0	0	6	11	1	0	5	8	5
2015	0	1	3	17	3	4	6	10	7

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が多い。

表21. 玉城の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	1	17	4	11	5	0
2010	2	18	5	8	5	1
2015	4	20	1	4	4	7

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が多い。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①農業、②卸売業・小売業、③医療・福祉
- ・2010年順位（多い順）：①医療・福祉、②農業、③建設業。卸売業・小売業
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③建設業

⑦中山

表22. 中山の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	32	32	0	0	0	7	5
2010	26	26	0	0	0	6	8
2015	22	22	0	0	0	9	7

【ポイント】

- ・農業の就業者数が建設業や製造業のそれよりも多い。
- ・農業の就業者数が減少傾向にある。

表23. 中山の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	0	1	3	20	2	0	0	5	0
2010	0	1	6	14	1	0	8	4	5
2015	0	1	4	17	1	0	6	3	4

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が多い。

表24. 中山の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	1	11	4	16	0	4
2010	4	15	1	4	1	10
2015	1	11	1	3	3	5

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が多い。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①農業、②卸売業・小売業、  
③サービス業（他に分類されないもの）
- ・2010年順位（多い順）：①農業、②医療・福祉、③卸売業・小売業
- ・2015年順位（多い順）：①農業、②卸売業・小売業、③医療・福祉

⑧奥武

表25. 奥武の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	12	12	0	18	0	58	24
2010	22	22	0	19	0	52	21
2015	16	16	0	15	0	47	18

【ポイント】

- ・建設業の就業者数が農業のそれよりも2倍以上多い。
- ・漁業の就業者数が二桁。

表26. 奥武の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	2	6	27	70	3	4	0	30	0
2010	2	2	25	46	3	3	3	31	19
2015	1	6	26	74	1	3	6	28	14

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が目立って多い。

表27. 奥武の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	12	25	8	57	25	3
2010	5	30	4	16	19	7
2015	8	28	3	17	14	7

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が多い。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②建設業、③サービス業（他に分類されないもの）
- ・2010年順位（多い順）：①建設業、②卸売業・小売業、③宿泊業・飲食サービス業
- ・2015年順位（多い順）：①卸売業・小売業、②建設業、③宿泊業・飲食サービス業、医療福祉

⑨志堅原

表28. 志堅原の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	35	35	0	2	0	45	28
2010	19	19	0	6	0	39	23
2015	30	30	0	3	0	31	18

【ポイント】

- ・建設業の就業者数と農業のそれがほぼ同じ。
- ・建設業の就業者数が微減傾向にある。
- ・農業の就業者数が一度減った後に増加している。

表29. 志堅原の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	1	3	10	41	4	0	0	15	0
2010	1	2	15	30	4	2	5	23	16
2015	2	5	13	44	6	7	7	15	15

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が目立って多い。

表30. 志堅原の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	9	33	5	25	10	3
2010	9	41	5	15	10	7
2015	8	48	4	12	11	0

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が多く、しかも微増傾向にある。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①建設業、②卸売業・小売業、③農業
- ・2010年順位（多い順）：①医療・福祉、②建設業、③卸売業・小売業
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③建設業

⑩堀川

表31. 堀川の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	15	15	0	0	1	45	16
2010	13	13	0	1	0	50	22
2015	14	14	0	0	0	34	11

【ポイント】

- ・建設業の就業者数が農業のそれよりも多い。

表32. 堀川の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	0	3	9	29	4	1	0	18	0
2010	1	4	9	41	2	2	1	18	7
2015	2	5	11	48	6	4	4	18	12

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が目立って多い。

表33. 堀川の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	8	31	2	36	11	2
2010	4	46	2	30	13	8
2015	9	61	2	30	8	6

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が目立って多く、しかも増加傾向にある。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①建設業、②サービス業（他に分類されないもの）、  
③医療・福祉
- ・2010年順位（多い順）：①建設業、②医療・福祉、③卸売業・小売業
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③建設業

⑪富里

表34. 富里の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	13	13	0	1	0	24	15
2010	9	9	0	2	0	16	23
2015	8	8	0	1	0	14	14

【ポイント】

- ・建設業の就業者数が農業のそれよりも多い。

表35. 富里の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	1	1	10	27	1	1	0	8	0
2010	0	6	12	26	3	1	9	10	11
2015	0	4	8	26	2	2	7	8	9

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が多い。

表36. 富里の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	14	17	1	41	17	1
2010	13	30	0	14	11	6
2015	13	29	1	13	12	11

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が多い。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①サービス業（他に分類されないもの）、②卸売業・小売業、③建設業
- ・2010年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③製造業
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③建設業。製造業

⑫當山

表37. 當山の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	30	30	0	0	0	27	13
2010	28	28	0	1	0	27	11
2015	18	18	0	1	0	21	12

【ポイント】

- ・建設業の就業者数が農業のそれを10年間で追い抜いた。
- ・農業の就業者数は減少傾向にある。

表38. 當山の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	1	3	12	22	4	1	0	3	0
2010	2	3	9	28	5	3	4	6	8
2015	2	5	14	22	4	3	3	5	8

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が多い。

表39. 當山の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	11	28	4	20	16	1
2010	9	34	2	9	13	5
2015	10	27	4	7	10	2

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が多い。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①農業、②医療・福祉、③建設業
- ・2010年順位（多い順）：①医療・福祉、②農業。卸売業・小売業、③建設業
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③建設業

⑬屋嘉部

表40. 屋嘉部の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	7	7	0	0	0	18	5
2010	12	12	0	1	0	19	9
2015	11	11	0	1	0	18	9

【ポイント】

- ・10年間で大きな変化がない。
- ・建設業の就業者数が農業のそれよりも多い。

表41. 屋嘉部の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	0	1	3	14	1	1	0	7	0
2010	1	2	8	19	5	2	4	10	12
2015	1	4	6	22	5	3	8	7	7

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が微増傾向にある。

表42. 屋嘉部の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	8	11	2	16	6	1
2010	7	32	2	16	8	4
2015	9	35	3	13	11	5

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が多く、微増傾向にある。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①建設業、②サービス業（他に分類されないもの）、  
③卸売業・小売業
- ・2010年順位（多い順）：①医療・福祉、②建設業。卸売業・小売業、③サービス業（他に  
分類されないもの）
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③建設業

⑭系数

表43. 系数の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	41	41	0	0	0	44	13
2010	32	32	0	0	0	36	11
2015	18	18	0	0	0	36	10

【ポイント】

- ・農業の就業者数が減少傾向にある。
- ・建設業の就業者数が農業のそれよりも多い。

表44. 系数の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	2	4	17	28	5	0	0	6	0
2010	0	4	10	21	2	1	11	9	2
2015	1	4	14	27	0	6	9	8	9

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が多い。

表45. 糸数の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	6	30	1	40	10	1
2010	6	37	2	21	10	4
2015	5	40	2	14	4	1

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が多く、微増傾向にある。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①建設業、②農業、③サービス業（他に分類されないもの）
- ・2010年順位（多い順）：①医療・福祉、②建設業、③農業
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②建設業、③卸売業・小売業

⑮喜良原

表46. 喜良原の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	1	1	0	0	0	13	3
2010	5	5	0	0	0	9	6
2015	3	3	0	0	0	11	5

【ポイント】

- ・建設業の就業者数が農業のそれよりも多い。

表47. 喜良原の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）(単位：人)

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	2	0	9	15	2	0	0	9	0
2010	1	0	9	10	3	0	0	7	5
2015	2	3	9	9	4	1	1	7	7

【ポイント】

- ・2015年には、二桁の就業者数がある分野がない。

表48. 喜良原の第三次産業（教育・医療・福祉・その他)(単位：人)

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	3	24	1	20	6	0
2010	6	21	0	9	4	0
2015	4	25	2	11	5	3

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が一定数多くある。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①医療・福祉、②サービス業（他に分類されないもの）、③卸売業・小売業
- ・2010年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③建設業、運輸業・郵便業。サービス業（他に分類されないもの）
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②建設業。サービス業（他に分類されないもの）、③運輸業・郵便、卸売業・小売業

⑩船越

表49. 船越の第一次産業・第二次産業従事者(単位：人)

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	92	90	2	1	0	72	37
2010	73	73	0	0	1	62	44
2015	77	77	0	1	2	100	67

【ポイント】

- ・農業と建設業、製造業の就業者数が多い。
- ・建設業の就業者数が農業のそれを10年間で追い抜いた。

表50. 船越の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）（単位：人）

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	5	10	38	72	6	3	0	24	0
2010	2	12	41	80	4	8	12	31	23
2015	4	16	60	107	10	7	16	50	34

【ポイント】

- ・運輸業・郵送業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業の就業者数が増加傾向にある。
- ・卸売業・小売業の就業者数が目立って多い。

表51. 喜良原の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）（単位：人）

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	18	73	9	66	22	4
2010	20	95	8	36	24	15
2015	38	157	11	49	43	26

【ポイント】

- ・教育・医療・福祉分野および公務の就業者数が増加傾向にある。
- ・医療・福祉分野の就業者数が際立って多い。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①農業、②医療・福祉、③建設業。卸売業・小売業
- ・2010年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③農業
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②卸売業・小売業、③建設業

⑰愛知

表52. 愛地の第一次産業・第二次産業従事者（単位：人）

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	74	74	0	0	1	48	19
2010	84	83	1	0	0	50	30
2015	78	78	0	0	0	67	35

【ポイント】

- ・農業従事者数が多く、また、10年間であまり変わっていない。
- ・建設業の就業者数は多いが、農業のそれよりも少ない。

表53. 愛地の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）（単位：人）

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	3	6	19	55	9	2	0	15	0
2010	3	12	23	69	11	3	10	35	11
2015	3	16	26	73	9	6	13	26	17

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が多く、また増加傾向にある。

表54. 愛地の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）（単位：人）

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	7	57	6	57	21	5
2010	22	75	2	42	20	6
2015	23	87	5	47	23	19

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が多く、また増加傾向にある。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①農業、②医療・福祉、サービス業（他に分類されないもの）、  
③卸売業・小売業
- ・2010年順位（多い順）：①農業、②医療・福祉、③卸売業・小売業
- ・2015年順位（多い順）：①医療・福祉、②農業、③卸売業・小売業

⑱前川

表55. 前川の第一次産業・第二次産業従事者（単位：人）

業種 年次	A:農業, 林業	(農業)	(林業)	B:漁業	C:鉱業, 採石業, 砂利採取業	D:建設業	E:製造業
2005	108	108	0	0	0	59	26
2010	114	114	0	0	0	53	31
2015	88	88	0	0	0	52	34

【ポイント】

- ・農業の就業者数が目立って多い。しかし、やや減少傾向にある。

表56. 前川の第三次産業（教育・医療・福祉・その他を除く）（単位：人）

業種 年次	F:電気, ガス, 熱供給, 水道業	G:情報通 信業	H:運輸業, 郵便業	I:卸売業, 小売業	J:金融業, 保険業	K:不動産業, 物品賃貸業	L:学術研究, 専門・技 術サービ ス業	M:宿泊業, 飲食サー ビス業	N:生活関連 サービス業, 娯楽業
2005	2	5	15	49	3	1	0	21	0
2010	2	8	22	64	5	5	14	25	17
2015	2	5	20	59	6	1	8	32	22

【ポイント】

- ・卸売業・小売業の就業者数が多い。
- ・宿泊業・飲食サービス業が増加傾向にある。

表57. 前川の第三次産業（教育・医療・福祉・その他）（単位：人）

業種 年次	O:教育, 学習支援業	P:医療,福祉	Q:複合サー ビス事業	R:サービス業 (他に分類されないもの)	S:公務 (他に分類され るものを除く)	T:分類不能 の産業
2005	9	43	6	69	10	5
2010	9	52	8	24	15	1
2015	13	61	6	40	10	18

【ポイント】

- ・医療・福祉分野の就業者数が多く、また増加傾向にある。

【全体まとめ】

- ・2005年順位（多い順）：①農業、②サービス業（他に分類されないもの）、③建設業
- ・2010年順位（多い順）：①農業、②卸売業・小売業、③建設業
- ・2015年順位（多い順）：①農業、②医療・福祉、③卸売業・小売業

### 3 玉城村の産業人口の特徴

- ・就業人口が1・2・3位までの分野は、ほとんど農業、建設業、卸売業・小売業、医療・福祉、サービス業（他に分類されないもの）の分野のうちのどれかである。
- ・2015年時点で、農業が1位となっている字は、垣花、中山、前川だけである。
- ・2015年時点で、農業の就業人口が多い字の上位3位は、①前川、②愛地、③船越である。
- ・2015年時点で、漁業の就業人口が2桁の字は、奥武だけである。
- ・2015年時点で、農業の就業人口が1桁の字は、仲村渠、新原、玉城、富里、喜良原である。

- ・主なサービス業は、医療・福祉分野および卸売業・小売業であり、両分野ともに就業人口は増加傾向にある。